

景気景況調査報告

(第4回)

平成28年10～12月期 実績
平成29年 1～3月期 見通し

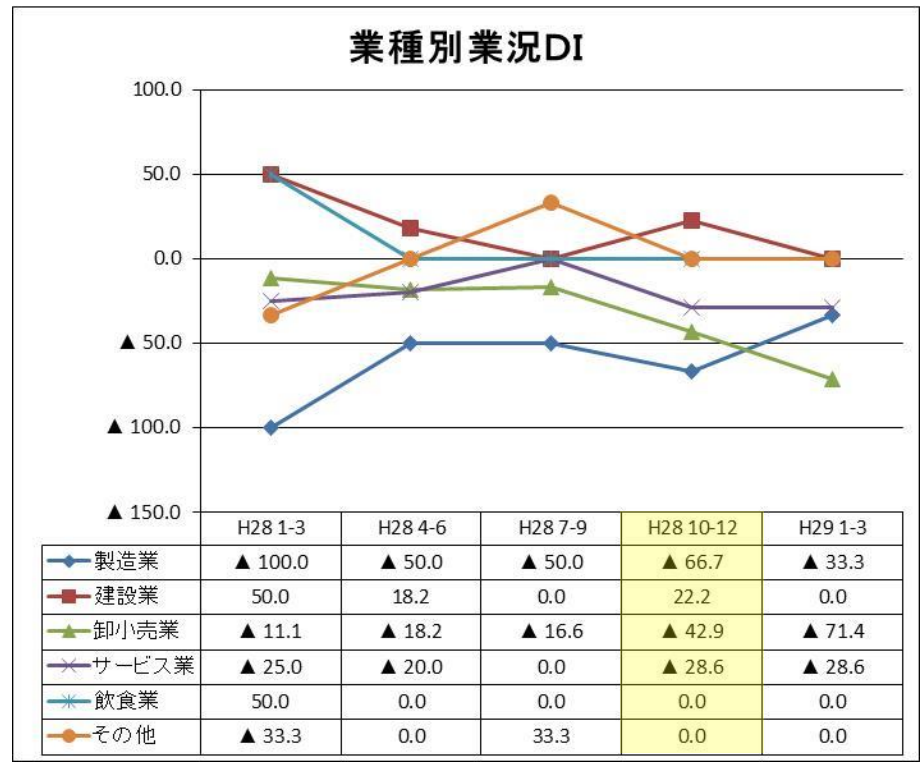
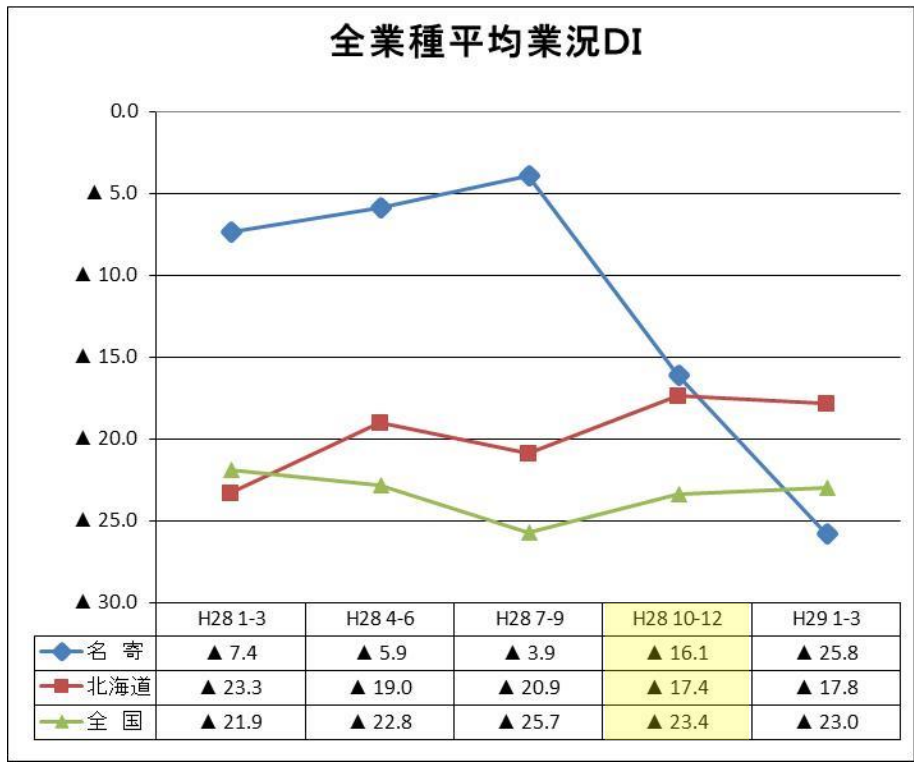
平成29年2月

名寄商工会議所

I 調査要領

- ①調査対象期間 平成28年10～12月期の実績及び平成29年1～3月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業、飲食業、その他の6業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所議員、正副部長及び青年部会員企業（一部抽出）67社【回収率 46.3%（31社）】

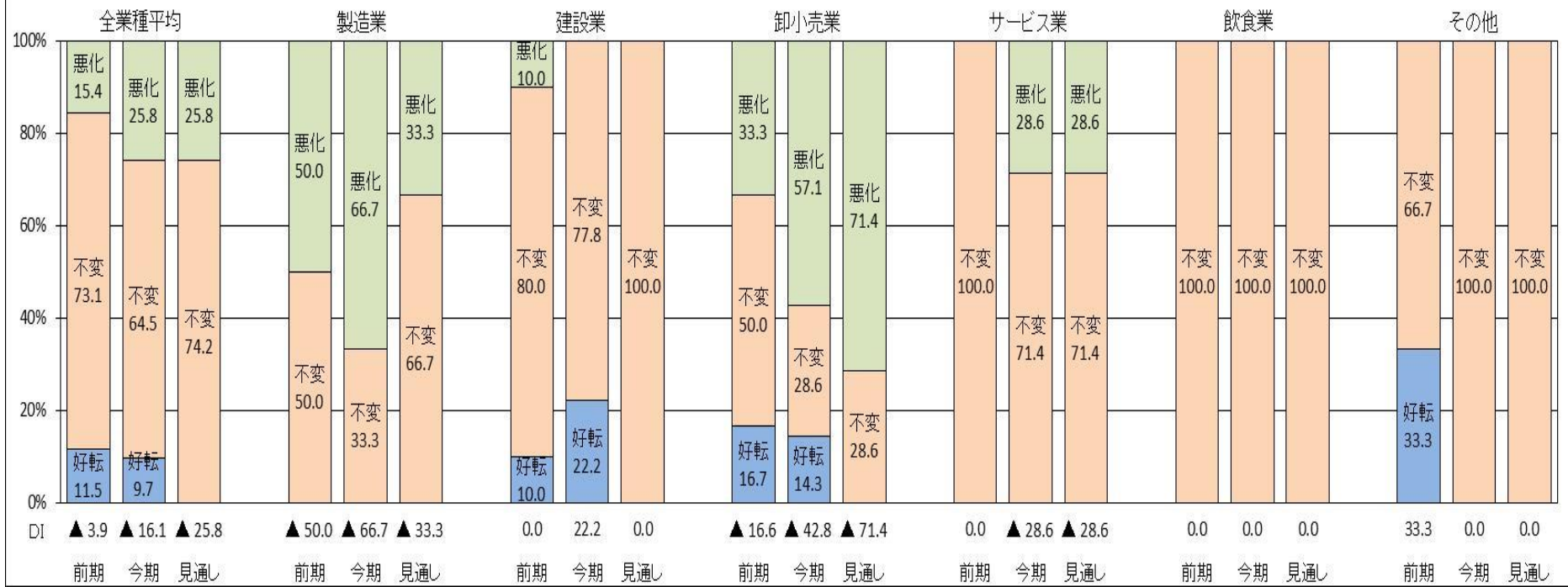
II 調査結果



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で▲16.1ポイントと前回の調査に比べマイナス幅が12.2ポイント拡大し、見通しでも▲25.8ポイントとマイナス幅が9.7ポイント拡大となった。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、ほぼ同じ状況となるが、見通しでは8ポイント上回る状況となった。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は7.3ポイント下回るが、見通しでも2.8ポイント上回る状況となった。
- ・ 北海道、全国の見通しでは、横ばいの見通しだが、当地域においては悪化の見通しとなっている。
- ・ 業種別では、主に卸小売業による悪化の回答が多かった。

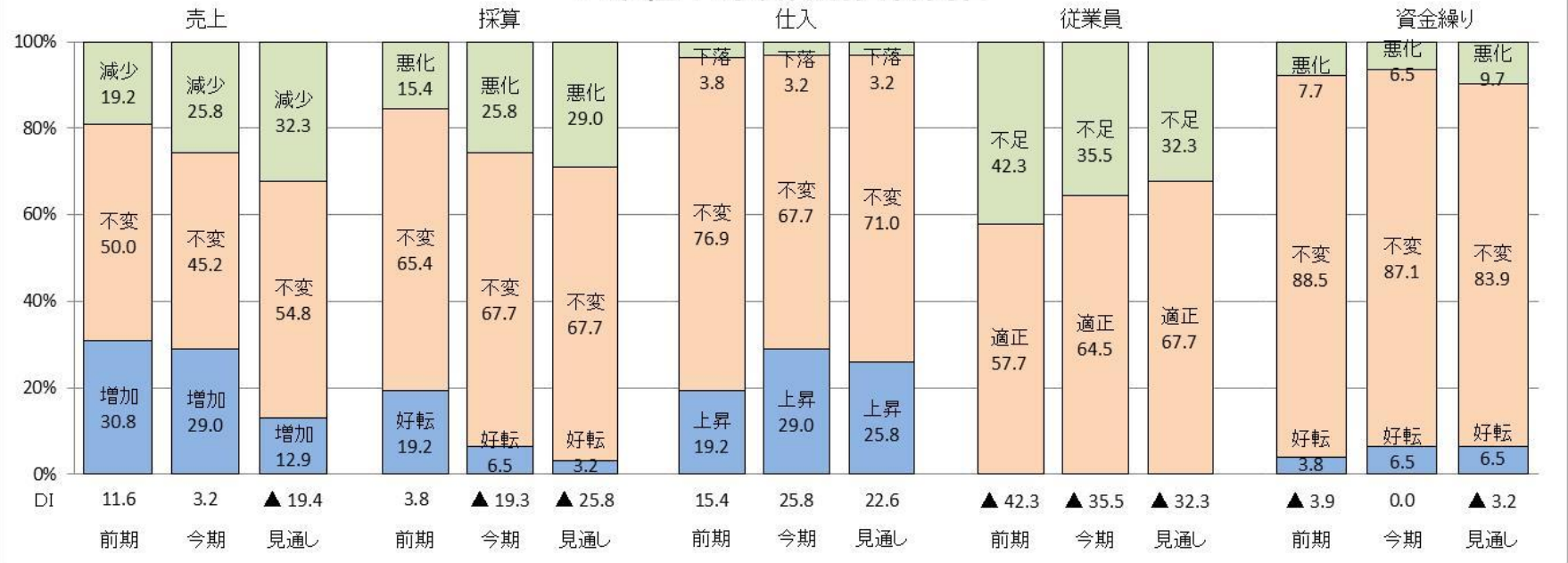
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「悪化」が66.7%と前期より若干増加。見通しでも「悪化」33.3%となっている。人口減少、受注の減少との回答。
- ・建設業～今期「好転」22.2%と前期より12.2%増加。広域的な受注の増加との回答。見通しでは「不変」100%となった。
- ・卸小売業～今期「悪化」57.1%と前期より23.8%増加。人口減少、価格上による転嫁不足などの回答。
見通しでも「悪化」71.4%と今期より14.3%増加し景気回復の兆しは不透明である。
- ・サービス業～今期「悪化」28.6%と前期より「悪化」が増加。受注減少が要因と思われる。見通しでは横ばいとなった。
- ・飲食業～今期「好転」「悪化」の回答がなく「不変」100%となった。見通しでも「不変」100%となっている。
- ・その他～今期「好転」「悪化」の回答がなく「不変」100%となった。見通しでも「不変」100%となっている。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

今期3.2ポイントと前期よりも8.4ポイント縮小となった。見込みでは▲19.4ポイントと今期より22.6ポイントマイナス幅が拡大。

[増加の要因]

- ・受注、売上の増加（製造、建設、卸小売業）
- ・設備増加（サービス業）
- ・地方客と客単価増（飲食業）

[減少の要因]

- ・受注、売上の減少（建設、卸小売業）
- ・人口減少（製造、卸小売業）
- ・利用客の減少（その他）

採算 DI

今期▲19.3ポイントと前期より23.1ポイントマイナス幅が拡大。見込みでは▲25.8ポイントと今期より6.5ポイントマイナス幅が拡大。

[好転の要因]

- ・売上増加に伴う利益向上（建設）
- ・利益の取れる商品売上割合が多かった（卸小売業）

[悪化の要因]

- ・売上減少（製造・卸小売業）
- ・人口減少（製造業）
- ・資材、価格値上げ分を添加不足（建設・卸小売業）

仕入 DI

今期25.8ポイントと前期より10.4ポイント拡大。見込みでは22.6ポイントと今期より3.2ポイント減少。仕入価格の上昇が増加しており、見込みでも横ばいとなっている。

[上昇の要因]

- ・燃料等価格の上昇（建設業・その他）
- ・都市部での建設物件増（建設業）
- ・メーカーによる値上げ（卸小売業）
- ・品不足により価格が下がらない（卸小売業）
- ・生鮮食品等の値上げ（飲食業）

従業員 DI

今期で▲35.53ポイントと前期よりも6.8ポイントマイナス幅が縮小。見込みでも▲32.3ポイントと3.2ポイント縮小するが、従業員不足の問題は以前として続いており、特に建設業による不足の声が多い。

[不足の要因]

- ・受注数に対応する従業員が確保できない（建設業）
- ・求人しても募集がない（卸小売業）
- ・専門職不足（サービス業）
- ・若手担い手不足（サービス業）
- ・定年退職者の補充が出来ない（その他）

資金繰り DI

今期で0.0ポイントと前期より3.9ポイント減少。見込みで▲3.2ポイントと横ばいとなっている。